

グループワークから学んだこと

看護学科第41期生 山崎 綾乃

今回の国際看護の授業でグループワークを通して、それぞれのメンバーが自身のできること、得意なことなどを活かし、役割を分担することで円滑にグループワークを行うことができたのではないかと考えます。一人ひとりが長所や得意な部分を活かし、また責任をもってグループでの活動を行うこと、コミュニケーションを密に図り協力することがチームワークを発揮するうえで大切であると学ぶことができました。

今回の国際看護ではイタリアについて調べましたが、時間が少ない中で並行して資料集めや原稿作り、発表資料の作成などを行い、その中で意見交換や情報共有などを行うことで計画的にグループワークを行うことができました。グループで1つのことを調べていくことで、メンバーの考えや自分とは違う視点からの情報をより多く得ることができ、深い学びとなったことから、意見交換や情報共有が重要であるということを学ぶことができました。

また、テーマ設定に沿って計画的にグループワークを行ったことで円滑に学習を進めることができ、計画を立てて一つのことに向かって協力することの大切さも学ぶことができました。今回のグループでは、パワーポイントの作成が得意なメンバーがいたため、自分は発表原稿づくりを行うなど、自分のできることを探し積極的にグループワークに参加するよう心掛けました。一人ひとりが責任をもって意欲的にグループでの活動を行うことができ、よいグループワークになったのではないかと考えます。

グループワークを通して、チームの一員としての役割を果たすために、責任をもって活動に取り組むことや、積極的にチームに参加すること、考えを発信し共有することの大切さを学びました。今後も、グループワークなどを行う際は自身の役割を明確にし、積極的に発言するなど意欲的に参加していきたいと思います。その中で積極的にグループに参加できないメンバーがいた際には、コミュニケーションを図り意見を引き出せるような関わりをしていきたいと思います。

また、協力することの大切さを学び、看護の場においても、チームで一つの目標に対し看護師や各職種がそれぞれの特徴を活かして協力し、目標に向かって取り組むことが大切であるということが分かりました。一貫した医療・看護を提供できるように患者さんを取り巻く医療者がコミュニケーションをしっかりとらえ、連携することが重要であるということを学ぶことができました。

この学びを今後の看護・チーム医療に活かしていきたいと思います。